

(小規模企業景気動向調査)

三重の景況

No.75

(2019年7月～12月期)

三重県商工会議所連合会
桑名商工会議所
四日市商工会議所
鈴鹿商工会議所
亀山商工会議所
津商工会議所
松阪商工会議所
伊勢商工会議所
鳥羽商工会議所
上野商工会議所
名張商工会議所
尾鷲商工会議所
熊野商工会議所

はじめに（総括）

県内 12 商工会議所では、地区の小規模企業を対象とした景況調査を年 2 回実施しています。このたび 2019 年下期の調査結果がまとまりましたのでご報告します。

三重県内の景況を示す指標である「現状」の D I 値は、▲26.2 と 2019 年上期に比べ 6.2 ポイント悪化しました。

業種別の「現状」D I 値は、製造業▲38.4（前期▲28.1）、建設業▲3.9（前期 0.1）、卸売業▲39.3（前期▲19.3）、小売業▲47.6（前期▲46.2）、飲食業▲34.5（前期▲25.7）、サービス業▲14.8（前期▲13.7）、交通運輸業▲24.4（前期▲11.5）、その他の業種▲17.0（前期▲15.2）と、すべての業種で悪化となりました。

地区別の「現状」D I 値は、北勢地区▲23.4（前期▲18.2）、中勢地区▲32.7（前期▲23.3）、南勢地区▲19.4（前期▲16.8）、伊賀地区▲21.6（前期▲21.9）、東紀州地区▲46.1（前期▲29.5）となり、ほぼ横ばいの伊賀地区を除くすべての地区で悪化となりました。

また、「今後の見通し」の D I 値は▲31.2 となり、現状の D I 値（▲26.2）と比較すると 5.0 ポイントの悪化を見通しています。業種別では、その他の業種が改善を見通すほか、小売業と飲食業はほぼ横ばいの見通しです。一方で製造業、建設業、卸売業、サービス業、交通運輸業で悪化の見通しとなり、地区別では、東紀州地区を除くすべての地区で悪化の見通しとなりました。

「売上状況」「利益状況」「販売条件」「仕入条件」の項目においても、「仕入条件」の全体 D I 値は前期とほぼ横ばいの傾向となりましたが、その他の項目は全体 D I 値が前期より悪化の傾向となりました。地区別では「売上状況」「仕入条件」は中勢地区を除くすべての地区で悪化、「利益状況」は南勢地区と伊賀地区を除くすべての地区で悪化、「販売条件」はほぼ横ばいの東紀州地区を除くすべての地区で悪化の傾向となりました。

景気の方角性を示す「設備投資」の項目は、「行った」とした割合が全体で 20.0%（前期 16.1%）と 3.9%増加、「予定している」とした割合も、全体で 14.0%（前期 13.5%）と 0.5%増加しました。業種別の実績では、交通運輸業が 33.3%で割合が最も高く、地区別の実績では中勢地区が 21.4%、設備投資の予定では北勢地区が 15.9%と最も高くなっています。

「借入の状況（難易度）」の D I 値は、全体で 8.0（前期 6.1）と改善となったほか、「借入を予定している」と回答した企業の割合は 13.9%（前期 13.6%）、「使途予定」については『運転資金』の割合は 62.3%（前期 65.1%）、『設備資金』の割合は 34.0%（前期 32.1%）となりました。

以上が本調査結果の概要です。本調査報告書が皆様の今後の企業経営の参考や小規模企業に対する皆様の更なる理解に資することになれば幸いに存じます。

最後に本調査の実施、作成にあたりましては、調査対象企業をはじめ関係各位の皆様にご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

2020年2月

三重県商工会議所連合会

も く じ

(調 査 内 容)

・ 調査要領	1
1. 現状と今後の見通し	4
現況D I 値の推移	6
2. 売上状況	8
3. 今後の売上見通し	8
4. 利益状況	9
5. 販売条件	9
6. 仕入条件	10
7. 設備投資	10
8. 資金繰り状況と今後の見通し	11
9. 借入状況	12
借入難易度D I 値の推移	13
10. 借入予定	14
11. 借入希望先	14
12. 借入金の使途予定	15
13. 経営上の問題点	15
・ 県内商工会議所地区の景況	17
・ 景況調査票	

「三重の景況」調査要領

1. 調査目的

当調査は、三重県商工会議所連合会と県内 12 商工会議所〔*1〕が、小規模企業〔*2〕の動向を合同で調査することにより、県内小規模企業の景況把握を、地区別〔*3〕に行い、合わせて各会議所地区の景況を調査することにより、各商工会議所の事業活動の参考とすることを目的とする。

〔* 1〕 県内商工会議所

桑 名商工会議所	中小企業相談所
四日市商工会議所	中小企業相談所
鈴 鹿商工会議所	中小企業相談所
亀 山商工会議所	中小企業相談所
津 商工会議所	中小企業相談所
松 阪商工会議所	中小企業相談所
伊 勢商工会議所	中小企業相談所
鳥 羽商工会議所	中小企業相談所
上 野商工会議所	中小企業相談所
名 張商工会議所	中小企業相談所
尾 鷲商工会議所	中小企業相談所
熊 野商工会議所	中小企業相談所

〔* 2〕 小規模企業（中小企業基本法による）

卸売・小売・サービス業は従業員 5 人以下（宿泊業・娯楽業は 20 人以下）、
製造・建設・その他の業種については 20 人以下。

（会社の役員・家族従業員・パートを除く）

〔* 3〕 県内各地区は下記のとおり

北勢地区……桑名・四日市・鈴鹿・亀山

中勢地区……津・松阪

南勢地区……伊勢・鳥羽

伊賀地区……上野・名張

東紀州地区…尾鷲・熊野

2. 調査対象・回答状況

県内12商工会議所の会員企業中、任意抽出した小規模企業9,454事業所を対象とした。回答状況は、回答率25.2%、回答企業2,391事業所であった。

3. 調査方法

FAXまたは郵送方法によるアンケート方式

4. 調査期間

2020年1月6日～1月17日

※当調査は、“1月～6月期”と“7月～12月期”の年2回、前年同期比のDI値による調査を実施している。

5. 集計方法

外部委託を行い、一括コンピュータ集計を行った。

6. 調査結果の取りまとめ

調査結果の取りまとめについては、津・松阪・上野・名張の4商工会議所が担当した。

なお、各商工会議所地区の景況は当該商工会議所が担当した。

DI値（ディフュージョン・インデックス）の見方について

DIとは景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、特に言及のない限り、「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

（注）図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第2桁で四捨五入をしているため、合計が100.0にならない場合がある。（マイナスは▲表示）

業種別・地区別回答状況

単位:企業 ():% 上:業種別構成率 下:地区別構成率

業種	地区	北勢				中勢			南勢			伊賀		東紀州			計			
		桑名	四日市	鈴鹿	亀山	津	松阪		伊勢	鳥羽		上野	名張		尾鷲	熊野				
製造業	食料	48	15	22	9	2	21	7	14	11	7	4	4	2	2	15	11	4	99	
	せんい	13	4	5	3	1	2	0	2	1	1	0	8	6	2	2	2	0	26	
	機械	58	28	21	5	4	10	3	7	10	2	8	4	2	2	2	2	0	84	
	金属製品	85	36	22	21	6	13	4	9	6	5	1	4	4	0	4	4	0	112	
	木材	16	8	5	1	2	15	1	14	1	1	0	5	5	0	12	10	2	49	
	化学	7	2	4	0	1	2	2	0	1	1	0	4	2	2	0	0	0	14	
	窯業	22	2	17	2	1	1	0	1	0	0	0	1	1	0	1	1	0	25	
	印刷出版	11	4	2	3	2	17	9	8	4	4	0	3	0	3	1	1	0	36	
	その他	58	18	17	19	4	20	5	15	8	3	5	6	2	4	4	2	2	96	
	計	318 (24.7) (58.8)	117	115	63	23	101 (21.8) (18.7)	31	70	42 (14.5) (7.8)	24	18	39 (21.1) (7.2)	24	15	41 (24.6) (7.6)	33	8	541 (22.6) (100.1)	
非製造業	建設業	土木工事	80	16	31	28	5	19	10	9	11	6	5	12	4	8	7	6	1	129
		建築工事	151	29	73	40	9	44	22	22	20	14	6	11	7	4	11	10	1	237
		その他	137	30	78	27	2	44	19	25	21	17	4	8	1	7	8	7	1	218
		(小計)	368	75	182	95	16	107	51	56	52	37	15	31	12	19	26	23	3	584
	卸売業	食料	15	5	7	2	1	8	5	3	8	4	4	3	2	1	5	5	0	39
		せんい	4	0	3	1	0	3	3	0	3	3	0	1	1	0	0	0	0	11
		その他	48	18	20	5	5	13	5	8	10	8	2	10	3	7	4	3	1	85
		(小計)	67	23	30	8	6	24	13	11	21	15	6	14	6	8	9	8	1	135
	小売業	せんい	36	12	14	7	3	13	1	12	20	15	5	5	4	1	7	6	1	81
		食料	36	13	12	8	3	15	4	11	20	15	5	8	3	5	7	5	2	86
		日用品	8	6	0	1	1	8	3	5	4	4	0	0	0	0	3	3	0	23
		電気製品	19	4	4	7	4	5	1	4	4	4	0	2	1	1	6	4	2	36
		その他	83	25	30	23	5	52	9	43	25	16	9	19	8	11	10	5	5	189
		(小計)	182	60	60	46	16	93	18	75	73	54	19	34	16	18	33	23	10	415
	飲食業	55	15	17	15	8	19	3	16	38	24	14	10	4	6	14	10	4	136	
	サービス業	美容・理容	32	9	13	7	3	4	1	3	5	4	1	10	6	4	6	5	1	57
		ホテル旅館	4	1	2	1	0	5	2	3	15	2	13	2	1	1	3	2	1	29
		自動車整備	34	7	12	11	4	17	2	15	11	9	2	11	5	6	5	2	3	78
		不動産	64	16	38	7	3	12	6	6	7	7	0	8	4	4	3	3	0	94
		その他	92	29	41	14	8	46	20	26	12	9	3	17	5	12	10	7	3	177
	(小計)	226	62	106	40	18	84	31	53	50	31	19	48	21	27	27	19	8	435	
	交通運輸業	13	3	3	2	5	22	3	19	3	2	1	2	2	0	5	4	1	45	
	計	911 (70.8) (52.1)	238	398	206	69	349 (75.4) (19.9)	119	230	237 (81.7) (13.5)	163	74	139 (75.1) (7.9)	61	78	114 (68.3) (6.5)	87	27	1,750 (73.2) (99.9)	
その他	57 (4.4) (57.0)	5	25	22	5	13 (2.8) (13.0)	13	0	11 (3.8) (11.0)	7	4	7 (3.8) (7.0)	2	5	12 (7.2) (12.0)	8	4	100 (4.2) (100.0)		
合計	1,286 (99.9) (53.8)	360	538	291	97	463 (100.0) (19.4)	163	300	290 (100.0) (12.1)	194	96	185 (100.0) (7.7)	87	98	167 (100.1) (7.0)	128	39	2,391 (100.0) (100.0)		

1. 現状と今後の見通し

a) 現状

全回答企業 2,391 事業所中、「良い・やや良い」が 17.3%、「悪い・やや悪い」が 43.5%で、D I 値は ▲26.2（前期▲20.0）となり、6.2ポイント悪化した。

業種別のD I 値では、すべての業種において前回と比べマイナス幅が増加し悪化となり、製造業▲38.4、建設業▲3.9、卸売業▲39.3、小売業▲47.6、飲食業▲34.5、サービス業▲14.8、交通運輸業▲24.4、その他の業種▲17.0となった。

地区別のD I 値では、前回と比べほぼ横ばいの伊賀地区を除く全ての地区で悪化が見られ、北勢地区▲23.4、中勢地区▲32.7、南勢地区▲19.4、伊賀地区▲21.6、東紀州地区▲46.1となった。

図-1 現状について（業種別）

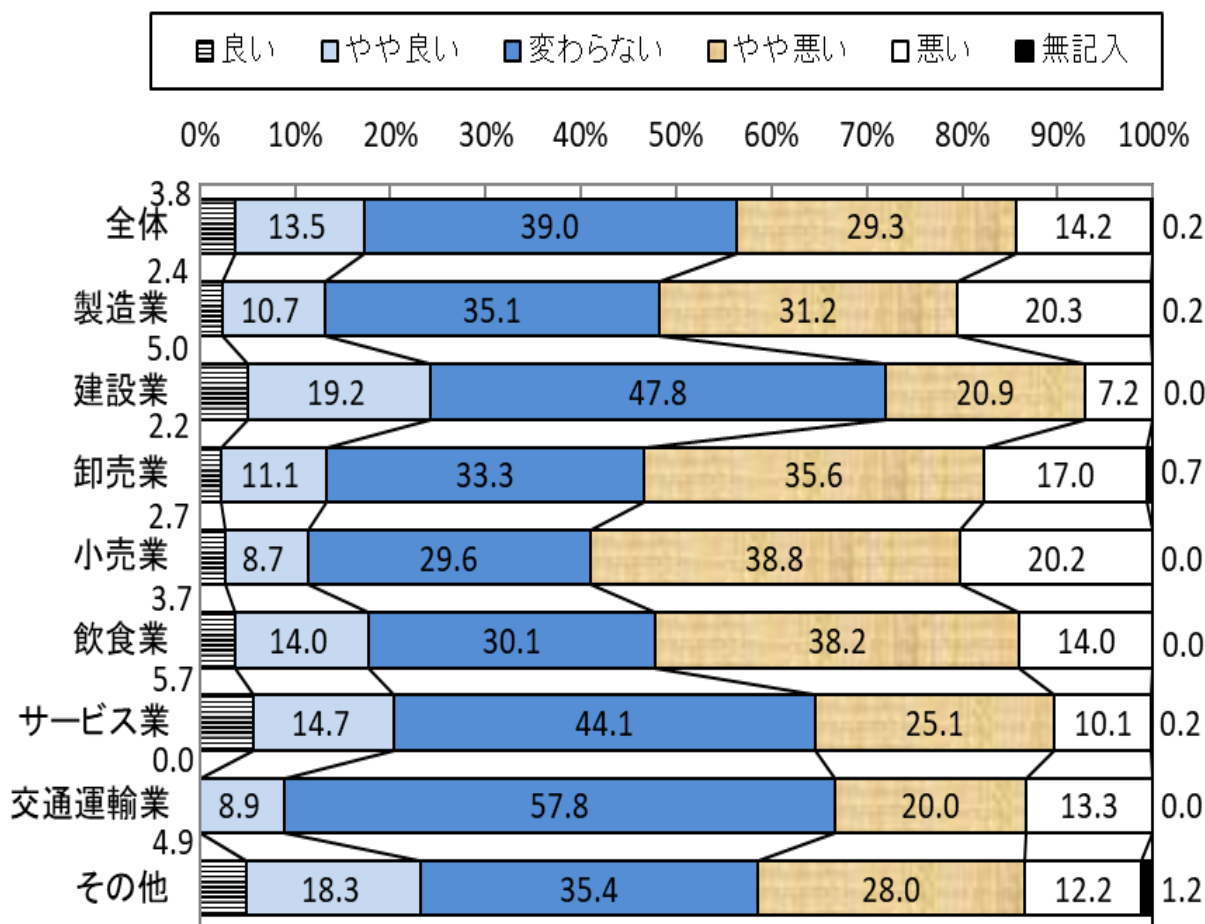


図-2 現状について（全体・地区別）

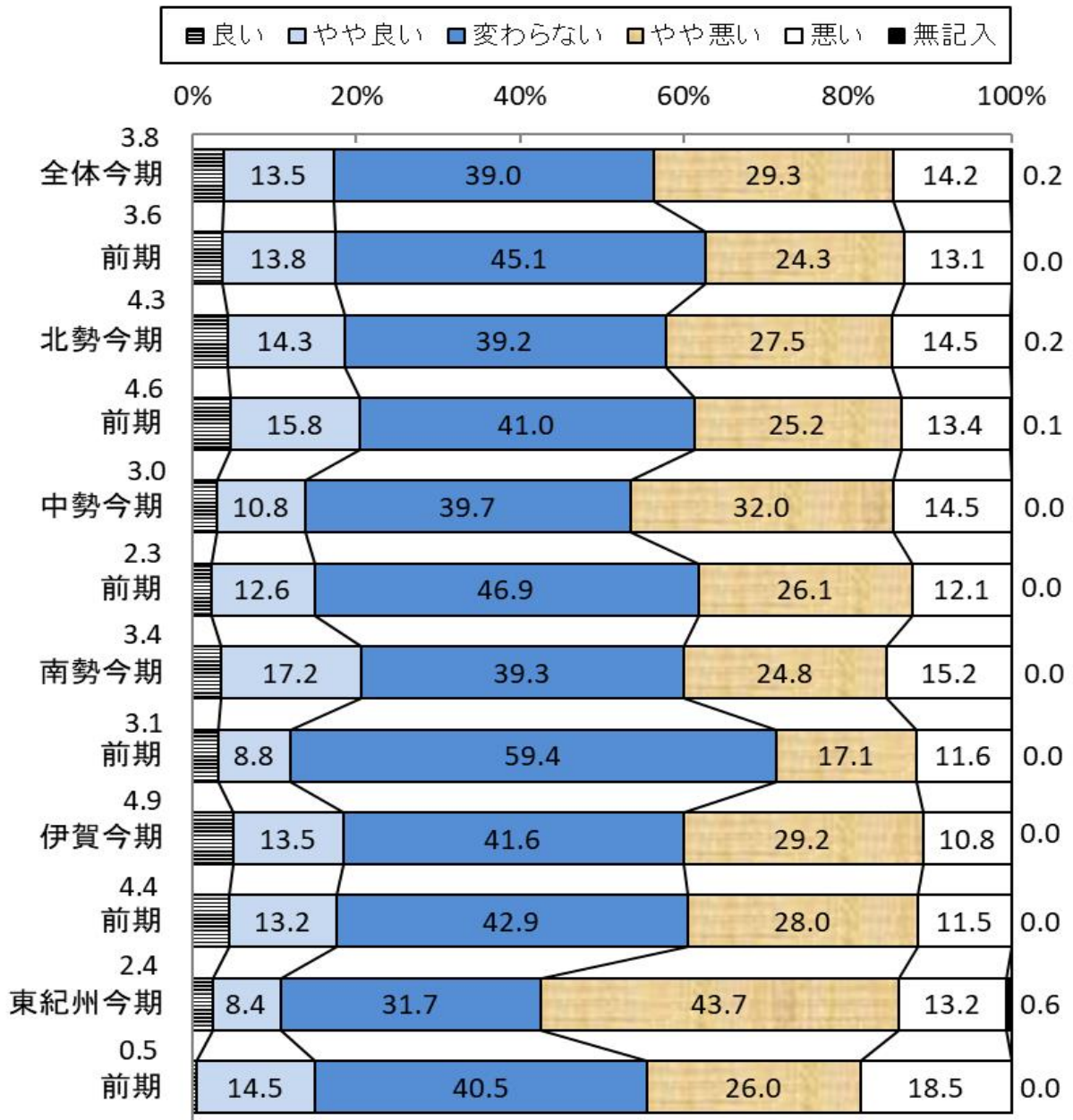
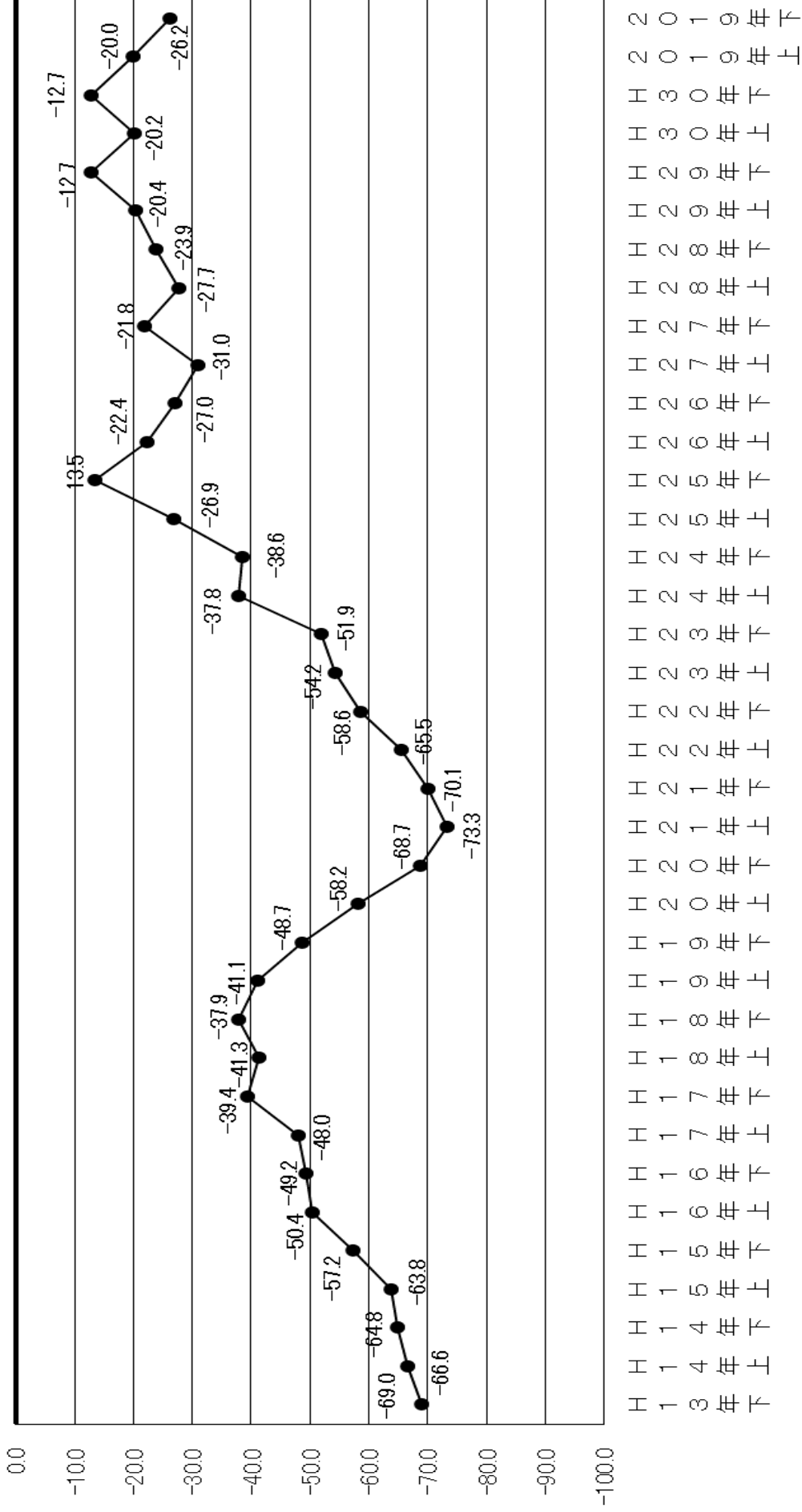


図-3 現況DI値の推移



(注) H17下期分までの値はBSI値を2倍した数値で表示

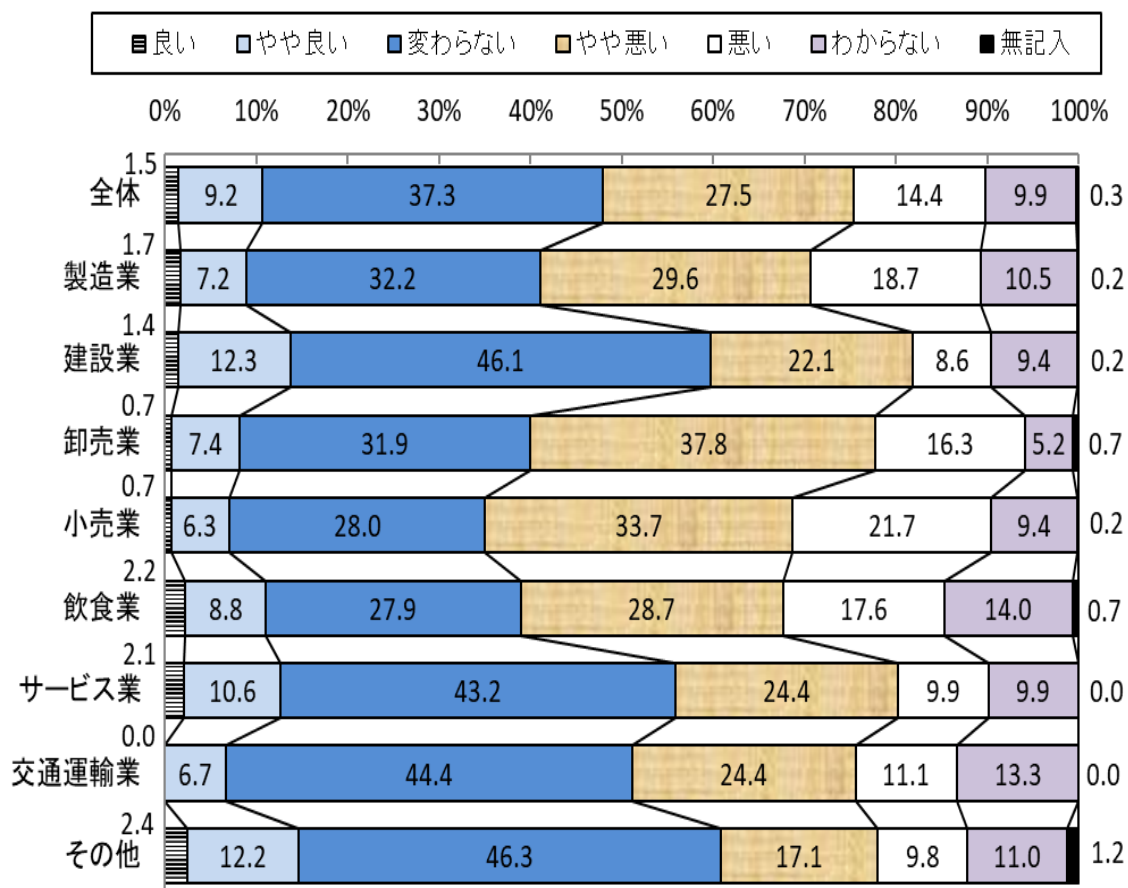
b) 見通し

全体の見通しでは、「良い・やや良い」が 10.7%、「悪い・やや悪い」は 41.9%で、D I 値は▲31.2 (現状D I 値▲26.2) となり、5.0 ポイント悪化の見通しとなった。

業種別のD I 値では、その他の業種は現状と比べD I 値のマイナス幅が減少し改善が見られ、小売業、飲食業はほぼ横ばいとなった。一方で、それ以外の業種では現状のD I 値と比べマイナス幅が増加し悪化の見通しが見られ、製造業▲39.4、建設業▲17.0、卸売業▲46.0、小売業▲48.4、飲食業▲35.3、サービス業▲21.6、交通運輸業▲28.8、その他の業種▲12.3 となった。

地区別のD I 値では、東紀州地区▲37.1 と現状と比べマイナス幅が減少し改善を見通しているが、北勢地区▲31.1、中勢地区▲34.3、南勢地区▲21.3、伊賀地区▲35.7 となり、マイナス幅が増加し悪化の見通しとなった。

図-4 今後の見通しについて（業種別）



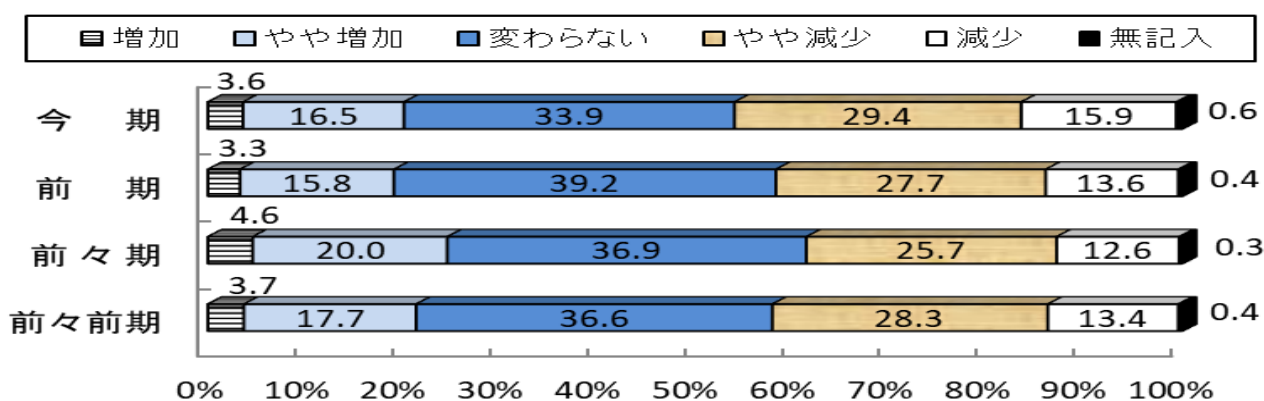
2. 最近の売上状況

全体では、「増加・やや増加」が 20.1%（前期 19.1%）、「やや減少・減少」が 45.3%（前期 41.3%）で、D I 値は▲25.2（前期▲22.2）となり、3.0 ポイント悪化した。

業種別の D I 値では、建設業、サービス業、その他の業種で前回と比べマイナス幅が減少し改善が見られ、小売業はほぼ横ばい、それ以外の業種では悪化が見られ、製造業▲38.2、建設業▲2.5、卸売業▲37.1、小売業▲47.4、飲食業▲31.0、サービス業▲15.9、交通運輸業▲26.7、その他の業種▲7.4 となった。

地区別の D I 値では、ほぼ横ばいの中勢地区を除く全ての地区で前回と比べ悪化が見られ、北勢地区▲23.1、中勢地区▲26.4、南勢地区▲21.0、伊賀地区▲30.8、東紀州地区▲40.1 となった。

図-5 売上状況



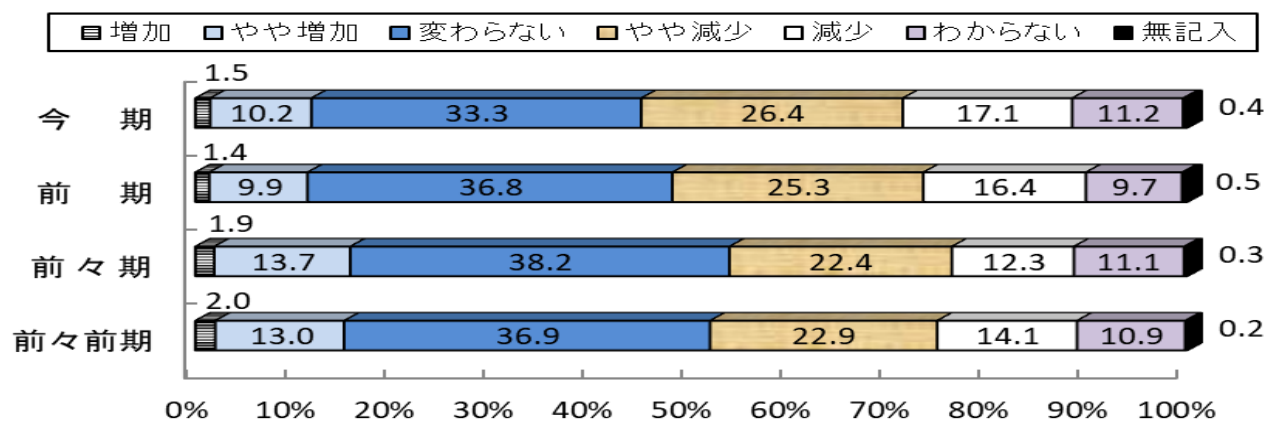
3. 今後の売上見通し

全体では、「増加・やや増加」が 11.7%（前期 11.3%）、「やや減少・減少」が 43.5%（前期 41.7%）で、D I 値は▲31.8（現状 D I 値▲25.2）となり、6.6 ポイント悪化の見通しとなった。

業種別の D I 値では、ほぼ横ばいの製造業を除くすべての業種で現状と比べマイナス幅が増加し悪化が見られ、製造業▲37.5、建設業▲21.1、卸売業▲43.8、小売業▲46.4、飲食業▲32.3、サービス業▲24.4、交通運輸業▲31.1、その他の業種▲8.6 となった。

地区別の D I 値では、東紀州地区▲38.3 で現状と比べマイナス幅の減少が見られ改善の見通し、南勢地区▲21.0 でほぼ横ばい、北勢地区▲31.8、中勢地区▲33.9、伊賀地区▲36.2 とマイナス幅が増加し悪化の見通しとなった。

図-6 売上見通し



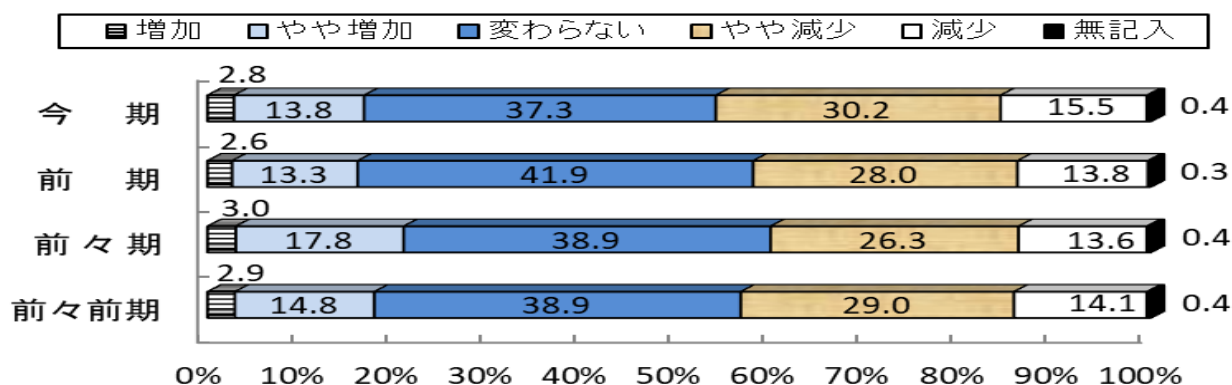
4. 利益状況

全体では、「増加・やや増加」が16.6%（前期15.9%）、「やや減少・減少」が45.7%（前期41.8%）で、D I値は▲29.1（前期▲25.9）となり、3.2ポイント悪化した。

業種別のD I値では、建設業、飲食業、その他の業種でマイナス幅が減少し改善、小売業、サービス業はほぼ横ばいとなり、それ以外の業種は現状のD I値と比べマイナス幅が増加し悪化が見られ、製造業▲41.0、建設業▲9.6、卸売業▲43.1、小売業▲46.7、飲食業▲34.6、サービス業▲21.1、交通運輸業▲31.1、その他の業種▲13.3となった。

地区別のD I値では、南勢地区▲20.2、伊賀地区▲27.6で前回と比べマイナス幅が減少し改善が見られたが、北勢地区▲27.6、中勢地区▲32.4、東紀州地区▲47.9とマイナス幅が増加し悪化が見られた。

図-7 利益状況



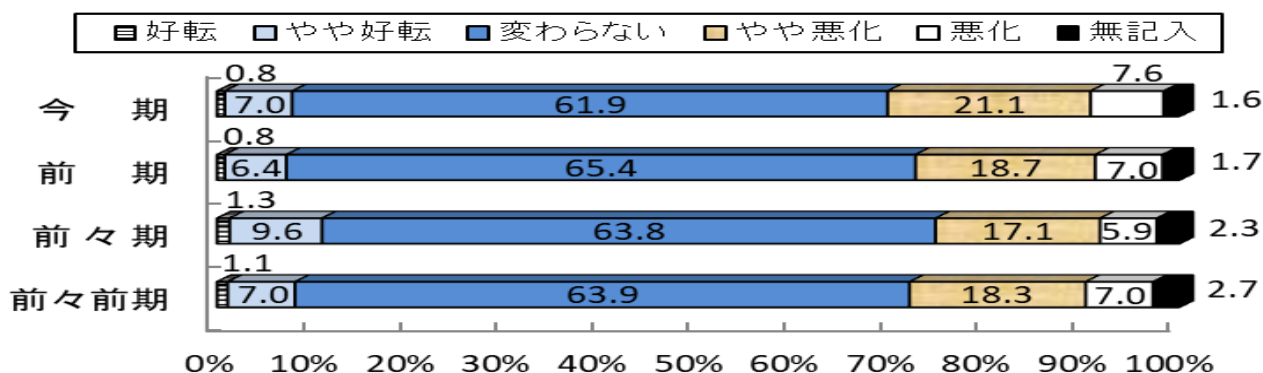
5. 販売条件

全体では、「好転・やや好転」が7.8%（前期7.2%）、「やや悪化・悪化」が28.7%（前期25.7%）で、D I値は▲20.9（前期▲18.5）となり、2.4ポイント悪化した。

業種別のD I値では、ほぼ横ばいの小売業、サービス業、その他の業種以外の業種で前回と比べマイナス幅が増加し悪化が見られ、製造業▲23.3、建設業▲11.3、卸売業▲25.9、小売業▲32.3、飲食業▲27.1、サービス業▲18.6、交通運輸業▲13.4、その他の業種▲14.7となった。

地区別のD I値では、ほぼ横ばいの東紀州地区を除く全ての地区で前回と比べ悪化となり、北勢地区▲18.8、中勢地区▲22.1、南勢地区▲17.9、伊賀地区▲24.3、東紀州地区▲34.1となった。

図-8 販売条件



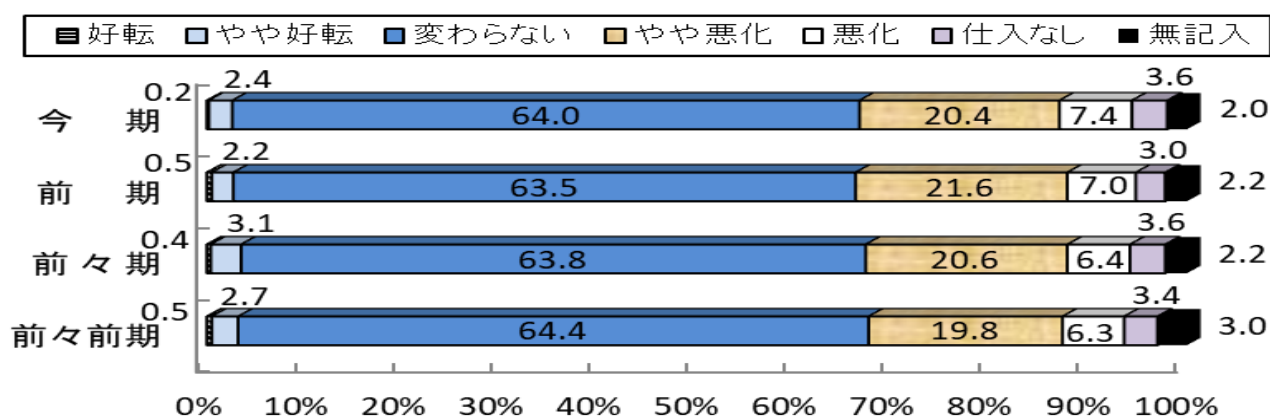
6. 仕入条件

全体では、「好転・やや好転」が2.6%（前期2.7%）、「やや悪化・悪化」が27.8%（前期28.6%）で、D I値は▲25.2（前期▲25.9）とほぼ横ばいとなった。

業種別のD I値では、製造業、小売業、飲食業で前回と比べマイナス幅が減少し改善が見られ、卸売業ではほぼ横ばい、それ以外の業種で前回と比べマイナス幅が増加し悪化が見られ、製造業▲26.8、建設業▲19.2、卸売業▲25.8、小売業▲31.3、飲食業▲41.2、サービス業▲20.9、交通運輸業▲33.3、その他の業種▲20.8となった。

地区別のD I値では、北勢地区、伊賀地区で前回と比べマイナス幅が減少し改善が見られ、中勢地区はほぼ横ばい、南勢地区、東紀州地区で悪化となり、北勢地区▲23.2、中勢地区▲25.3、南勢地区▲27.3、伊賀地区▲26.6、東紀州地区▲35.9となった。

図-9 仕入条件



7. 設備投資

全体では、設備投資を行った企業は479社、20.0%（前期427社、16.1%）、設備投資を予定している企業は335社、14.0%（前期358社、13.5%）であった。

業種別では、交通運輸業が33.3%と、他の業種よりも設備投資を行った割合が高いという結果となった。設備投資の予定については、その他の業種が22.0%と最も高い割合であった。

地区別では、中勢地区が実績21.4%と最も高く、設備投資の予定については北勢地区が15.9%と最も高い割合であった。

図-10 設備投資の実績

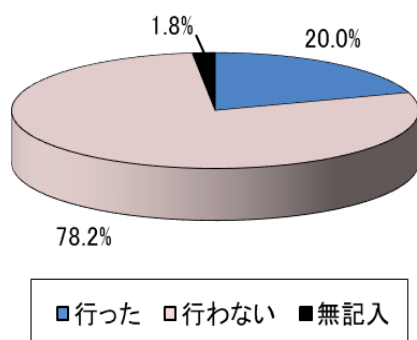
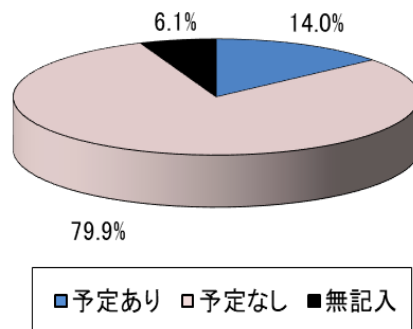


図-11 設備投資の予定



8. 資金繰り状況と今後の見通し

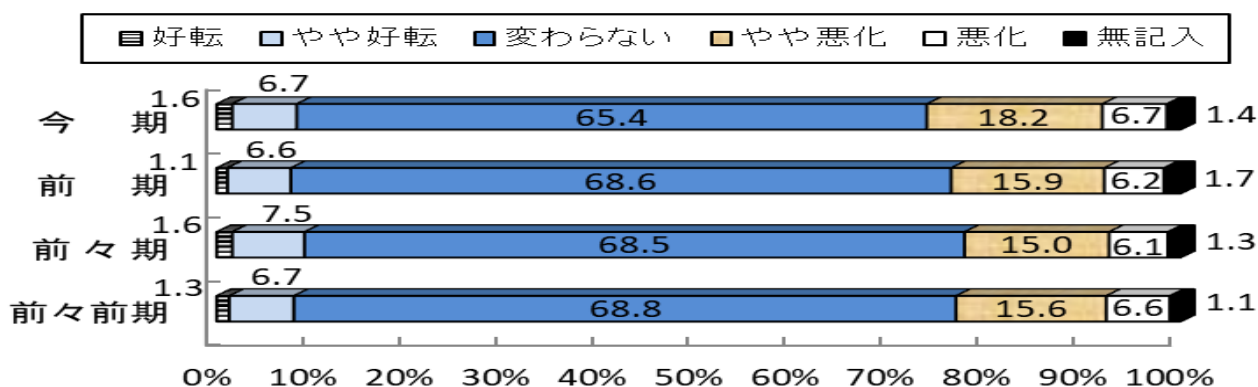
a) 現状

全体では「好転・やや好転」が8.3%（前期7.7%）、「悪化・やや悪化」は24.9%（前期22.1%）で、D I 値は▲16.6（前期▲14.4）となり、2.2ポイント悪化した。

業種別D I 値では、小売業、飲食業、サービス業で前回と比べマイナス幅が減少し改善が見られ、それ以外の業種で前回と比べマイナス幅が増加し悪化となり、製造業▲24.4、建設業▲3.7、卸売業▲23.0、小売業▲26.1、飲食業▲19.9、サービス業▲11.3、交通運輸業▲24.4、その他の業種▲17.1となった。

地区別D I 値では、ほぼ横ばいの中勢地区、伊賀地区を除く全ての地区で前回と比べ悪化が見られ、北勢地区▲14.4、中勢地区▲17.8、南勢地区▲20.1伊賀地区▲17.3、東紀州地区▲23.4となった。

図-12 資金繰りの現状



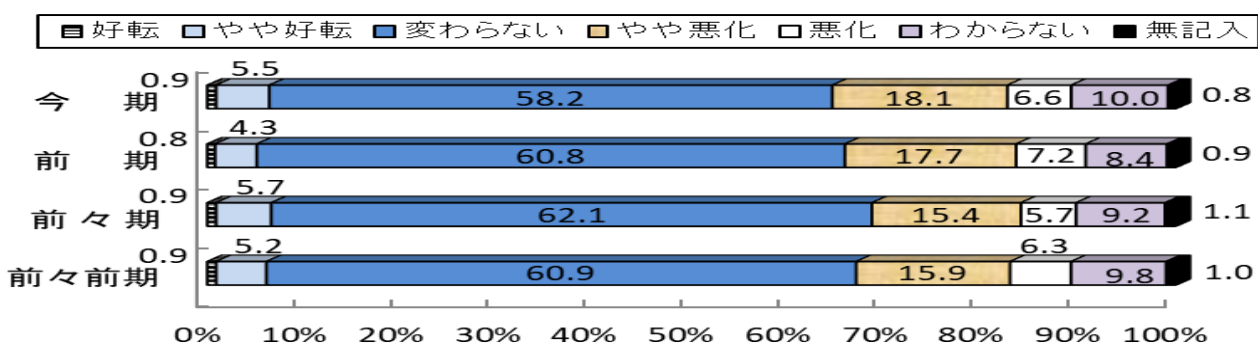
b) 見通し

全体では「好転・やや好転」が6.4%（前期5.1%）、「悪化・やや悪化」は24.7%（前期24.9%）でD I 値は▲18.3（現状D I 値▲16.6）となり、1.7ポイント悪化の見通しとなった。

業種別D I 値では、飲食業、その他の業種で現状と比べマイナス幅が減少し改善の見通しとなり、小売業、サービス業、交通運輸業でほぼ横ばい、それ以外の業種で前回と比べマイナス幅が増加し悪化が見られ、製造業▲26.0、建設業▲9.9、卸売業▲25.2、小売業▲25.3、飲食業▲18.4、サービス業▲10.9、交通運輸業▲24.5、その他の業種▲14.6となった。

地区別のD I 値では、南勢地区で現状と比べマイナス幅が減少し改善の見通しとなり、それ以外の全ての地区でマイナス幅が増加し悪化する見通しが見られ、北勢地区▲16.5、中勢地区▲19.6、南勢地区▲17.2、伊賀地区▲22.2、東紀州地区▲26.4とマイナス幅が増加し悪化を見通している。

図-13 資金繰りの見通し



9. 借入状況

a) 現状

回答企業 2,391 社のうち、借入を実施した企業は、1,054 社、44.1%（前期 971 社、36.6%）であった。

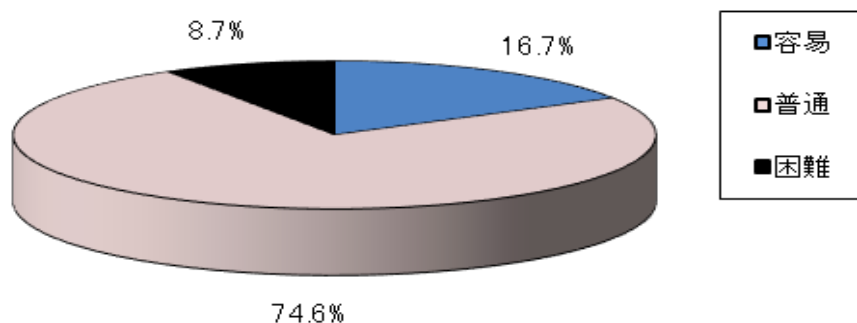
b) 借入の難易度

全体では、借入を実施した企業のうち、「容易」が 16.7%（前期 16.5%）、「困難」は 8.7%（前期 10.4%）で、D I 値は 8.0（前期 6.1）と 1.9 ポイント改善した。

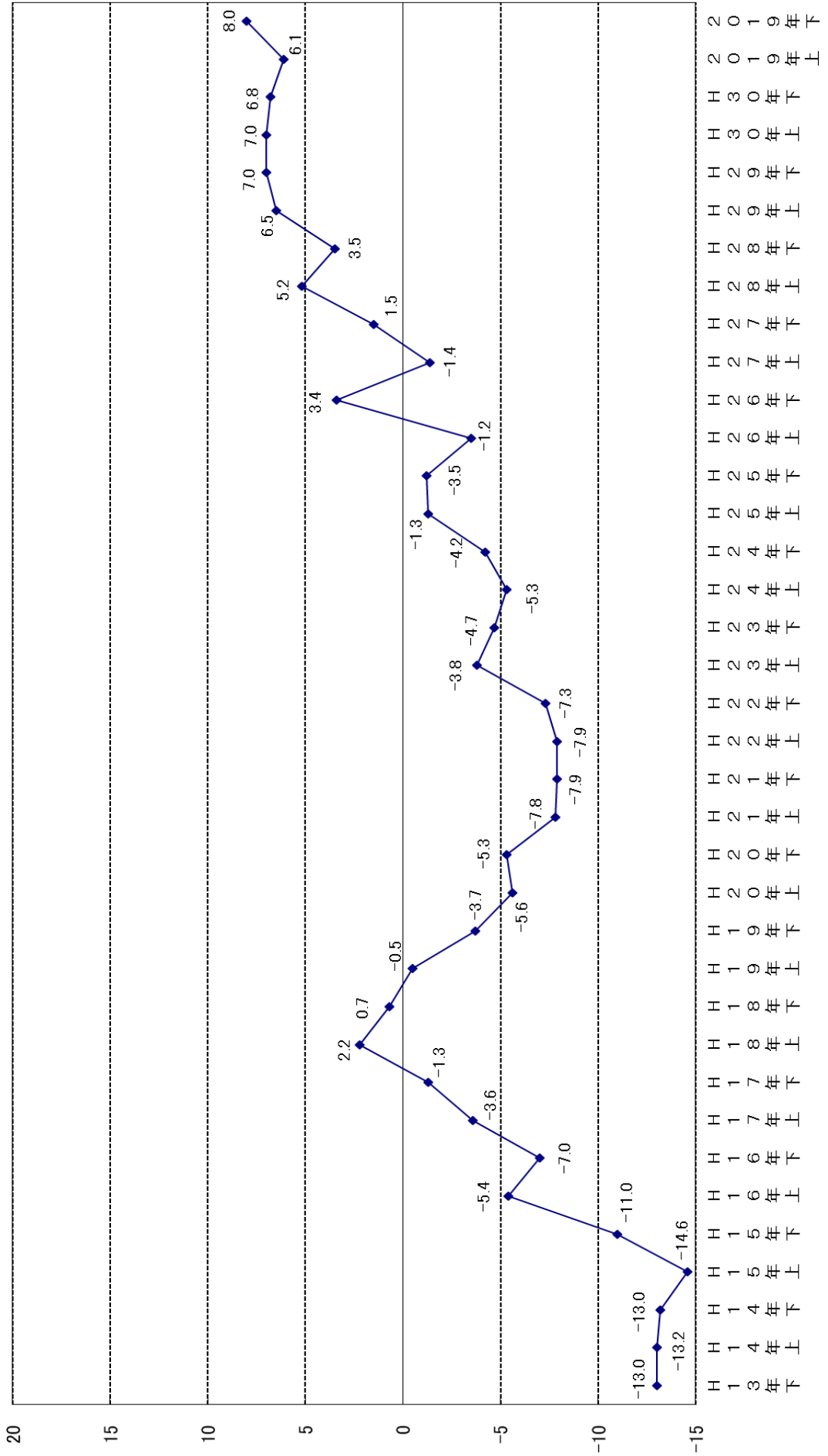
業種別 D I 値では、交通運輸業、飲食業、サービス業、その他の業種で改善、製造業、建設業、小売業ではほぼ横ばい、卸売業で悪化となり、製造業 7.3、建設業 14.4、卸売業▲1.5、小売業 2.5、飲食業 0.0、サービス業 8.3、交通運輸業 19.0、その他の業種 0.0 となった。

地区別 D I 値では、北勢地区 7.1、東紀州地区 10.9 で改善となり、中勢地区 13.1 でほぼ横ばい、南勢地区 1.8、伊賀地区 8.4 で悪化となった。

図-14 借入の難易度



図一15 借入難易度D I 値の推移



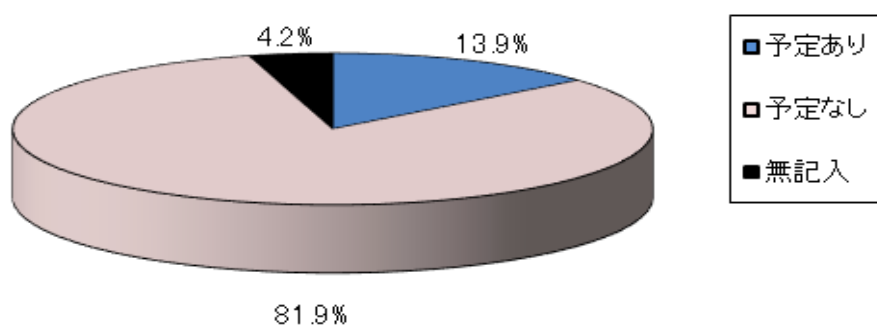
10. 借入予定

全体では、回答企業 2,391 社のうち、借入を予定している企業は 332 社、13.9%（前期 361 社 13.6%）であった。

業種別で見ると、借入を予定しているのは交通運輸業が 17.8%と最も高く、飲食業が 11.0%と最も低かった。

地区別では、北勢地区が 14.7%と最も高く、中勢地区 14.0%、南勢地区 11.4%、伊賀地区 11.9%、東紀州地区 13.8 となった。

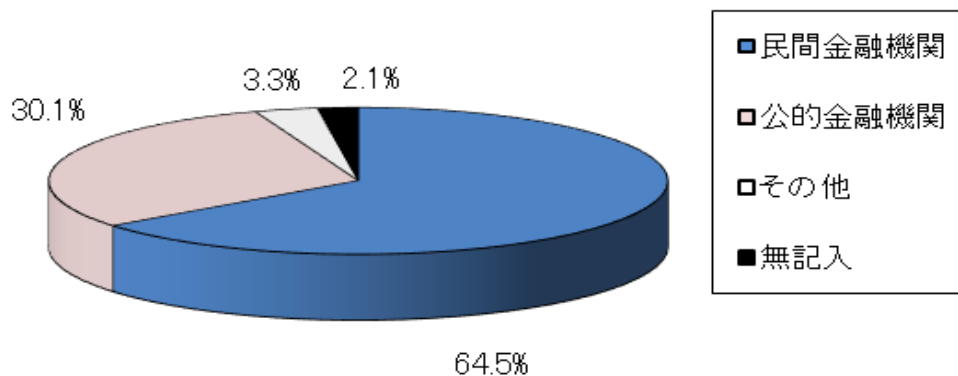
図-16 借入予定



11. 借入希望先

借入を予定している企業のうち、「民間金融機関」が 64.5%（前期 69.0%）、「公的金融機関」は 30.1%（前期 26.3%）となった。

図-17 借入希望先

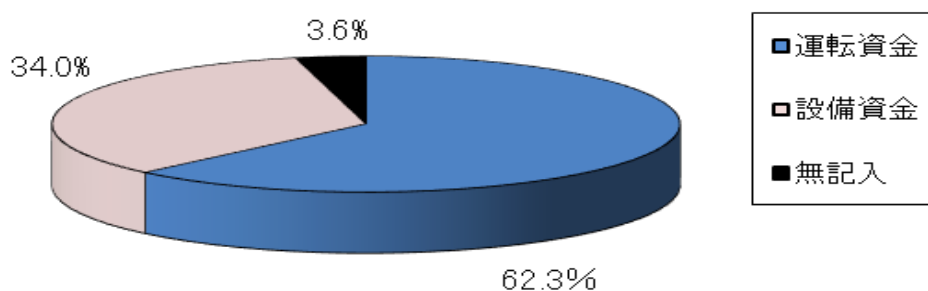


12. 借入金の使途予定

全体では、借入を予定している企業のうち、「運転資金」が62.3%（前期65.1%）に対し、「設備資金」は34.0%（前期32.1%）であった。

業種別では「運転資金」で卸売業が81.0%、「設備資金」でサービス業が54.4%と、それぞれ最も高かった。

図-18 借入金の使途予定



13. 経営上の問題点

全体では、「売上・受注の停滞減少」が最も多く45.0%（前期42.7%）、次いで「人手不足」が32.2%（前期29.2%）、「人材育成」が18.9%（前期17.2%）となった。

「売上・受注の停滞減少」、「人手不足」は前回に引続き、第1位、第2位となり、大きな課題となっている。

業種別では、製造業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業で「売上・受注の停滞減少」が、建設業、交通運輸業、その他の業種で「人手不足」の回答が最も多かった。

表－1 経営上の問題点(3項目以内複数回答)

区 分		第1位	第2位	第3位
業 種 別	製 造 業	売上・受注の停滞減少 (53.6)	人手不足 (24.6)	設備店舗の狭小老朽化 (23.8)
	建 設 業	人手不足 (57.5)	人材育成 (32.0)	売上・受注の停滞減少 (31.8)
	卸 売 業	売上・受注の停滞減少 (60.7)	競争激化 (26.7)	設備店舗の狭小老朽化・ 人手不足 (17.8)
	小 売 業	売上・受注の停滞減少 (63.6)	競争激化 (29.2)	設備店舗の狭小老朽化 (17.8)
	飲 食 業	売上・受注の停滞減少 (38.2)	人材不足 (32.4)	設備店舗の狭小老朽化 (30.1)
	サービス業	売上・受注の停滞減少 (36.8)	人手不足 (24.1)	競争激化 (21.6)
	交通運輸業	人手不足 (57.8)	売上・受注の停滞減少 (35.6)	人件費以外の経費増加 (24.4)
	そ の 他	人手不足 (37.8)	売上・受注の停滞減少 (24.4)	人材育成 (18.3)
地 区 別	北 勢	売上・受注の停滞減少 (42.5)	人手不足 (34.5)	人材育成 (20.9)
	中 勢	売上・受注の停滞減少 (49.2)	人手不足 (34.8)	競争激化 (20.3)
	南 勢	売上・受注の停滞減少 (46.9)	人手不足 (30.3)	競争激化 (22.8)
	伊 賀	売上・受注の停滞減少 (43.2)	競争激化 (25.4)	人手不足 (24.3)
	東 紀 州	売上・受注の停滞減少 (50.9)	設備店舗の狭小老朽化 (20.4)	原材料高及び不足・ 人手不足 (19.8)
総 合		売上・受注の停滞減少 (45.0)	人手不足 (32.2)	人材育成 (18.9)

県内商工会議所地区の景況

◎桑名商工会議所地区（調査対象 1,506 事業所 回答状況 360 事業所）

現 状

2019年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が17.0%（前期17.8%）、「やや悪い・悪い」が44.4%（前期41.4%）となった。D I値は▲27.4（前期▲23.3）となり、前期調査時に比べ4.1ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲41.9（前期▲34.2）・建設業が6.7（前期1.4）・卸売業が▲30.4（前期▲37.4）・小売業が▲55.0（前期▲45.5）・飲食業が6.7（前期▲21.4）・サービス業が▲22.5（前期▲8.4）・交通運輸業が▲66.6（前期25.0）・その他の業種が0.0（前期▲21.5）となった。

業種別では前期D I値と比較して建設業、卸売業、飲食業、その他の業種については改善が見られ、特に飲食業では大きな改善が見られた。それ以外の業種については悪化となった。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が9.4%、「やや悪い・悪い」との回答は45.3%、D I値は▲35.9となった。

現状のD I値▲27.4と比較すると、8.5ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲43.6・建設業が▲6.7・卸売業が▲52.2・小売業が▲58.3・飲食業が▲53.3・サービス業が▲25.8・交通運輸業が▲66.6・その他の業種が0.0となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、交通運輸業、その他の業種が現在と同じ水準で推移する見通しである。一方で製造業が1.7ポイント、建設業が13.4ポイント、卸売業が21.8ポイント、小売業が3.3ポイント、飲食業が46.6ポイント、サービス業が3.3ポイントの悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、50.6%（前期42.8%）、「人手不足」が27.8%（前期29.4%）、「人材育成」が18.9%（前期17.8%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業、交通運輸業、その他の業種で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、建設業、飲食業では引き続き「人手不足」が最も多い結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は56社15.6%（前期14.4%）であった。前期と比較して1.2ポイント増加した。

業種別では、製造業が12.0%（前期10.5%）、建設業が18.7%（前期21.9%）、卸売業が13.0%（前期20.8%）、小売業が18.3%（前期7.0%）、飲食業が6.7%（前期35.7%）、サービス業が16.1%（前期11.9%）、交通運輸業が33.3%（前期25.0%）、その他の業種が40.0%（前期7.1%）となった。

前期と比較し、その他の業種が32.9ポイントと最も増加幅が大きく、飲食業が▲29.0ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。

◎四日市商工会議所地区（調査対象 2,327 事業所 回答状況 538 事業所）

現 状

2019 年度 7～12 月の業況は、「良い・やや良い」が 19.5%（前期 22.3%）、「やや悪い・悪い」が 42.6%（前期 37.4%）となった。D I 値は▲23.1（前期▲15.1）となり、前期調査時に比べ 8 ポイント悪化する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲40.9（前期▲19.8）・建設業が▲4.5（前期▲4.5）・卸売業が▲56.7（前期▲6.7）・小売業が▲45.0（前期▲47.4）・飲食業が▲52.9（前期▲22.3）・サービス業が▲10.3（前期▲14.3）・交通運輸業が▲33.3（前期 16.6）・その他の業種が▲16.0（前期▲5.9）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して小売業・サービス業で改善が見られた。一方で、製造業・卸売業・飲食業・交通運輸業・その他の業種が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 12.1%、「やや悪い・悪い」との回答は 39.2%、D I 値は▲27.1 となった。

現状の D I 値（▲23.1）と比較すると、4.0 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲39.2・建設業が▲22.5・卸売業が▲53.3・小売業が▲40.0・飲食業が▲35.2・サービス業が▲14.1・交通運輸業が 0.0・その他の業種が 4.0 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると製造業が 1.7 ポイント、卸売業が 3.4 ポイント、小売業が 5.0 ポイント、飲食業が 17.7 ポイント、交通運輸業が 33.3 ポイント、その他の業種が 20.0 ポイントと改善を見通す。一方で、建設業が▲18.0 ポイント・サービス業が▲3.8 ポイントと悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く 40.0%（前期 37.1%）、「人手不足」が 37.9%（前期 32.9%）、「人材育成」が 20.6%（前期 19.5%）と上位を占めた。

業種別では、小売業で前期 7 位の「人手不足」6.8%が今期 3 位の 16.7%に上昇した。「売上・受注の停滞減少」については、交通運輸業では前期 3 位の 16.7%が今期 1 位の 33.3%、卸売業では前期 44.4%から 18.9%増加し、他業種と比較して最も増加幅が大きくなった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 120 社 22.3%（前期 19.7%）であった。前期と比較して 2.6 ポイント増加した。

業種別では、製造業が 18.3%（前期 23.3%）、建設業が 24.2%（前期 22.9%）、卸売業が 16.7%（前期 0.0%）、小売業が 11.7%（前期 8.5%）、飲食業が 17.6%（前期 27.8%）、サービス業が 30.2%（前期 24.1%）、交通運輸業が 33.3%（前期 16.7%）、その他の業種では 28.0%（前期 11.8%）となった。

前期と比較し、建設業が 1.3 ポイント、卸売業が 16.7 ポイント、小売業が 3.2 ポイント、サービス業が 6.1 ポイント、交通運輸業が 16.6 ポイント、その他の業種が 16.2 ポイントと増加する結果とな

った。一方で、製造業が▲5.0ポイント、飲食業が10.2ポイント減少する結果となった。前期と比較し、設備投資を行った割合が最も増加した業種は、卸売業であった。

◎鈴鹿商工会議所地区（調査対象 1,063 事業所 回答状況 291 事業所）

現 状

2019年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が19.6%（前期21.0%）、「やや悪い・悪い」が36.4%（前期37.7%）となった。D I値は▲16.8（前期▲16.7）となり、前期調査時に比べ0.1ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲31.7（前期▲23.7）・建設業が4.2（前期5.3）・卸売業が▲50.0（前期▲41.7）・小売業が▲50.1（前期▲57.5）・飲食業が▲39.9（前期▲15.4）・サービス業が12.5（前期▲12.5）となった。

業種別では前期D I値と比較して小売業、サービス業で改善が見られた。一方、製造業、建設業、卸売業、飲食業で悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が10.7%、「やや悪い・悪い」との回答は43.3%、D I値は▲32.6となった。

現状のD I値（▲16.8）と比較すると、15.8ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲53.9・建設業が▲10.5・卸売業が▲62.5・小売業が▲43.4・飲食業が▲40.0・サービス業が▲20.0となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、小売業が6.7ポイントの改善を見通すほか、製造業が22.2ポイント、建設業が14.7ポイント、卸売業が12.5ポイント、飲食業が0.1ポイント、サービス業が32.5ポイントの悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く37.1%（前期40.3%）、「人手不足」が36.1%（前期35.5%）、「人材育成」が22.0%（前期26.2%）と上位を占めた。

また、業種別では製造業・卸売業・小売業・サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、建設業で「人手不足」、飲食業は「設備店舗の狭小老朽化」が最も多かった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は65社22.3%（前期16.3%）であった。前期と比較して6.0ポイント増加した。業種別では、製造業が19.0%（前期14.5%）、建設業が31.6%（前期21.9%）、卸売業が12.5%（前期16.7%）、小売業が23.9%（前期10.0%）、飲食業が6.7%（前期0.0%）、サービス業が12.5%（前期15.0%）となった。前期と比較すると、卸売業とサービス業以外で設備投資の増加が見られ、小売業が13.9ポイントと最も増加幅が大きい結果となった。

◎亀山商工会議所地区（調査対象 538 事業所 回答状況 97 事業所）

現 状

2019年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が16.5%（前期17.6%）、「やや悪い・悪い」が46.4%（前期38.6%）となった。D I値は▲29.9（前期▲21.0）となり、前期調査時に比べ8.9ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲30.5（前期▲24.0）・建設業が6.3（前期14.4）・卸売業が▲50.0（前期▲20.0）・小売業が▲75.1（前期▲44.8）・飲食業が▲50.0（前期▲42.9）・サービス業が▲22.2（前期6.7）・交通運輸業が▲40.0（前期▲50.0）・その他の業種が40.0（前期75.0）となった。

業種別では前期D I値と比較して交通運輸業については改善が見られたが、それ以外の業種について悪化という結果となった。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が11.3%、「やや悪い・悪い」との回答は42.2%、D I値は▲30.9となった。

現状のD I値（▲29.9）と比較すると1.0ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲21.7・建設業が▲25.0・卸売業が▲66.7・小売業が▲56.3・飲食業が▲37.5・サービス業が▲27.7・交通運輸業が▲20.0・その他の業種が20.0となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、製造業が8.8ポイント・小売業が18.8ポイント・飲食業が12.5ポイント・交通運輸業が20.0ポイントの改善を見通す一方で、建設業が31.3ポイント・卸売業が16.7ポイント・サービス業が5.5ポイント・その他の業種が20.0ポイントの悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、42.3%（前期44.7%）、「人手不足」が36.1%（前期23.7%）、「人材育成」が26.8%（前期17.5%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業・卸売業・小売業は「売上・受注の停滞減少」を、建設業は「人材育成」を、飲食業は「売上・受注の停滞減少」・「設備店舗の狭小老朽化」を、サービス業・交通運輸業・その他の業種では「人手不足」を上位に挙げている結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は25社 25.8%（前期14.9%）であった。前期と比較して建設業・卸売業・飲食業・サービス業の業種で増加し、全体として10.9ポイント増加した。

津商工会議所地区（調査対象 1,552 事業所 回答状況 163 事業所）

現 状

2019年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が19.0%（前期17.2%）、「やや悪い・悪い」が39.9%（前期32.0%）となった。D I値は▲20.9（前期▲14.8）となり、前期調査時に比べ6.1ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲61.3（前期▲35.9）・建設業が▲7.9（前期10.4）・卸売業が▲7.7（前期▲37.5）・小売業が▲16.7（前期▲30.0）・飲食業が▲66.6（前期▲37.5）・サービス業が▲13.0（前期▲23.2）・交通運輸業が0.0（前期▲28.6）・その他の業種が0.0（前期▲18.2）となった。

業種別では前期D I値と比較して、卸売業、小売業、サービス業、交通運輸業、その他の業種については改善となった一方で、製造業、建設業、飲食業は悪化となった。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が8.6%、「やや悪い・悪い」との回答は40.5%、D I値は▲31.9となった。

現状のD I値（▲20.9）と比較すると、11ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲48.3・建設業が▲27.4・卸売業が▲30.8・小売業が▲44.5・飲食業が▲100.0・サービス業が▲16.2・交通運輸業が▲33.3と見通す結果となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、製造業が13ポイントの改善、それ以外の業種については悪化する見通しとなった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」最も多く、45.4%（前期44.0%）、「人手不足」が40.5%（前期36.8%）、「人材育成」が23.9%（前期21.5%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業と卸売業、小売業、サービス業は「売上・受注の停滞減少」、依然として引続き建設業とその他の業種は「人手不足」が第1位の項目となっている。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は39社23.9%（前期20.6%）であった。前期と比較して3.3ポイント増加した。業種別では建設業が15社（前期19社）、製造業が8社、サービス業が6社、小売業が3社、飲食業が2社、交通運輸業が1社、その他の業種が4社となった。

◎松阪商工会議所地区（調査対象 806 事業所 回答状況 300 事業所）

現 状

2019年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が11.0%（前期13.0%）、「やや悪い・悪い」が50.0%（前期43.0%）となった。D I値は▲39.0（前期▲30.0）となり、前期調査時に比べ9.0ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲44.3（前期▲40.7）・建設業が▲19.6（前期0.0）・卸売業が▲72.8（前期▲26.7）・小売業が▲52.0（前期▲56.1）・飲食業が▲56.3（前期▲22.2）・サービス業が▲26.4（前期▲27.6）・交通運輸業が▲26.4（前期5.5）となった。

業種別では前期D I値と比較して、小売業とサービス業を除く全ての業種で悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が9.0%、「やや悪い・悪い」との回答は44.7%、D I値は▲35.7となった。

現状のD I値（▲39.0）と比較すると、3.3ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲38.6・建設業が▲17.8・卸売業が▲18.2・小売業が▲54.6・飲食業が▲50.1・サービス業が▲22.7・交通運輸業が▲36.8となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、製造業が5.7ポイント、建設業が1.8ポイント、卸売業が54.6ポイント、飲食業が6.2ポイント、サービス業が3.7ポイント改善する見通しである。一方で、小売業が2.6ポイント、交通運輸業が10.4ポイントの悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く51.3%（前期49.1%）、「人手不足」が31.7%（前期29.2%）、「競争激化」が20.0%（前期24.5%）と上位を占めた。

また、業種別では製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、交通運輸業は「人手不足」、飲食業は「売上・受注の停滞減少」と「原材料高及び不足」が最も多かった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は60社20.0%（前期14.8%）であった。前期と比較して5.2ポイント増加した。

業種別では、製造業が18.6%（前期12.5%）、建設業が19.6%（前期14.3%）、卸売業が0%（前期20.0%）、小売業が17.3%（前期7.6%）、飲食業が37.5%（前期22.2%）、サービス業が17.0%（前期17.0%）、交通運輸業が42.1%（前期33.3%）となった。

前期と比較し、飲食業が15.3ポイントと最も増加幅が大きく、卸売業は20.0ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。

◎伊勢商工会議所地区（調査対象 600 事業所 回答状況 194 事業所）

現 状

2020年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が22.1%（前期11.3%）、「やや悪い・悪い」が34.6%（前期20.4%）となった。D I値は▲12.5（前期▲9.1）となり、前期調査時に比べ3.4ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲12.6（前期5.8）・建設業が▲5.4（前期▲3.3）・卸売業が▲20.0（前期0.0）・小売業が▲29.6（前期▲31.3）・飲食業が8.3（前期▲11.6）・サービス業が3.1（前期▲3.4）・交通運輸業が0.0（前期▲33.3）・その他の業種が▲60.0（前期50.0）となった。

業種別では前期D I値と比較して小売業、飲食業、サービス業、交通運輸業で改善が見られた。一方で製造業、建設業、卸売業、その他の業種が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が15.9%、「やや悪い・悪い」との回答は29.9%、D I値は▲14.0となった。

現状のD I値（▲12.5%）と比較すると、1.5ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲16.6、建設業が▲10.8、卸売業が▲20.0、小売業が▲27.8、飲食業が16.7、サービス業が▲6.4、交通運輸業が▲50.0、その他の業種が▲20.0となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、製造業で▲4.0ポイント、建設業で▲5.4ポイント、サービス業で▲9.5、交通運輸業で▲50.0ポイント悪化を見通し、小売業で1.8ポイント、飲食業で8.4ポイントその他の業種で40.0ポイント改善を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、43.8%（前期40.6%）、「人手不足」が33.0%（前期26.8%）、「競争激化」が25.8%（前期19.4%）、と上位を占めた。

また、業種別では、製造業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、建設業、交通運輸業で「人手不足」が上位を占めた。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は30社15.5%（前期10.0%）であった。前期と比較して5.5ポイント増加した。業種別では、建設業が10社と最も多かった。

◎鳥羽商工会議所地域（調査対象 250 事業所 回答状況 96 事業所）

現 状

2019年7月～12月の業況は、「良い・やや良い」が17.7%（前期13.5%）、「やや悪い・悪い」が51.0%（前期52.2%）となった。D I値は▲33.3（前期▲38.7）となり前期調査時と比べ、5.4ポイントの改善となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲44.4（前期▲48.4）・建設業が▲40.1（前期▲0.1）・卸売業が▲16.7（前期▲25.0）・小売業が▲52.7（前期▲77.8）・飲食業が▲35.8（前期▲50.1）・サービス業が▲0.1（前期▲16.7）・交通運輸業が100.0（前期0.0）・その他の業種が▲75.0（前期▲50.0）となっている。業種別では前回D I値と比較して、製造業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業が改善。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が8.3%、「やや悪い・悪い」との回答は44.8%、D I値は▲36.5となった。

現状のD I値（▲33.3）と比較すると、3.2ポイント悪化の見通しとなっている。

業種別のD I値を見ると製造業が▲33.3・建設業が▲33.3・卸売業が▲16.7・小売業が▲57.8・飲食業が▲35.8・サービス業が▲31.6・交通運輸業が▲100.0・その他の業種が0.0となった。

業種別に現状のD I値と比較すると製造業、建設業が改善する見通しとなった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、前回と変わらず「売上・受注の停滞減少」が最も多く53.1%（前期38.7%）を占めた。次いで「設備店舗の狭小老朽化」が34.4%（前期36.0%）、「人手不足」が25.0%（前期26.1%）、と上位を占めた。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は17社17.7%（前期18.0%）であった。前期と比較してほぼ横ばい。業種別では、製造業が16.7%（前期12.9%）、建設業が33.3%（前期35.3%）、卸売業が0.0%（前期0.0%）、小売業が5.3%（前期16.7%）、飲食業が14.3%（前期21.4%）、サービス業が26.3%（前期16.7%）、交通運輸業が0.0%（前期0.0%）、その他業種が25.0%（前期25.0%）となった。

◎上野商工会議所地区（調査対象 280 事業所 回答状況 87 事業所）

現 状

2019年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が12.6%（前期11.0%）、「やや悪い・悪い」が41.3%（前期45.2%）となった。D I値は▲28.7（前期▲34.2）となり、前期調査時に比べ5.5ポイント改善する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲29.2（前期▲38.8）・建設業が▲0.0（前期▲20.1）・卸売業が▲50.0（前期▲100.0）・小売業が▲31.2（前期▲29.6）・飲食業が▲50.0（前期0.0）・サービス業が▲28.6（前期▲38.5）・交通運輸業が▲100.0（前期▲50.0）となった。

業種別では前期D I値と比較して、製造業・建設業・卸売業・サービス業で改善が見られた。一方で、小売業・飲食業・交通運輸業で悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が4.6%、「やや悪い・悪い」との回答は42.5%、D I値は▲37.9となった。

現状のD I値（▲28.7）と今後の見通しD I値（▲37.9）とを比較すると、9.2ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲45.8・建設業が▲25.0・卸売業が▲66.7・小売業が▲37.5・飲食業が▲25.0・サービス業が▲28.6・交通運輸業が▲50.0となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、飲食業が25.0ポイント、交通運輸業が50.0ポイント改善を見通すほか、サービス業が0.0ポイントと現在の水準で推移する見通しである。一方で、製造業が16.6ポイント、建設業が25.0ポイント、卸売業が16.7ポイント、小売業が6.3ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く54.0%（前期50.0%）、設備店舗の狭小老朽化が27.6%（前期22.0%）、「競争激化」が26.4%（前期31.7%）、「人出不足」が19.5%（前期17.1%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業・建設業・卸売業・小売業・サービス業・交通運輸業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、建設業では「売上・受注の停滞減少」・「設備店舗の狭小老朽化」、飲食業では「売上・受注の停滞減少」・「原材料高及び不足」が同数で最も多かった。

【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は15社17.2%（前期13.4%）であった。前期と比較して3.8ポイント増加した。

業種別では、製造業が12.5%（前期11.1%）、建設業が33.3%（前期6.7%）、卸売業が16.7%（前期

0.0%)、小売業が6.3% (前期25.9%)、飲食業が50.0% (前期33.0%)、サービス業が14.3% (前期0.0%) となった。業種別では、建設業が4社と最も多かった。

◎名張商工会議所地域 (調査対象200事業所 回答状況98事業所)

現 状

2019年7月～12月の業況は、「良い・やや良い」が23.5% (前期23.0%)、「やや悪い・悪い」が38.8% (前期35.0%) となった。D I値は▲15.3 (前期▲12.0) となり、前期調査時に比べ3.3ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が0.0 (前期▲23.5)・建設業が10.5 (前期▲13.1)・卸売業が0.0 (前期28.6)・小売業が▲49.9 (前期▲38.5)・飲食業が▲50.0 (前期▲50.0)、サービス業が▲22.2 (前期10.3)・その他の業種が20.0 (前期▲33.3) となった。

業種別では前期D I値と比較して製造業・建設業・その他の業種では改善が見られたが、飲食業では横ばいとなり、卸売業・小売業・サービス業においては悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が13.3%、「やや悪い・悪い」との回答は46.9%、D I値は▲33.6 となった。

現状のD I値 (▲15.3) と比較すると、18.3ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲20.0・建設業が0.0・卸売業が▲62.5・小売業が▲66.6・飲食業が▲66.6・サービス業が▲33.3・その他の業種が0.0 となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、製造業が20.0ポイント・建設業が10.5ポイント・卸売業62.5ポイント・小売業が21.7ポイント・飲食業が16.6ポイント・サービス業が11.1ポイント・その他の業種が20.0ポイントの悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く、33.7% (前期42.0%)、「人手不足」が28.6% (前期29.0%)、「競争激化」が24.5% (前期19.0%) と上位を占めた。

また、業種別では、製造業・卸売業・小売業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、建設業・その他の業種で「人手不足」、飲食業で「原材料高及び不足」が最も多かった。

【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は24社24.5% (前期20.0%) であった。前期と比較して4.5ポイント増加した。業種別ではサービス業が8社と最も多かった。

業種別では、製造業が26.7% (前期17.6%)、建設業が21.1% (前期17.4%)、卸売業0.0% (前期0.0%)、小売業が33.3% (前期23.1%)、飲食業が33.3% (前期25.0%)、サービス業が29.6% (前期24.1%)、その他の業種では0.0% (前期33.3%) となった。

◎尾鷲商工会議所地域（調査対象 132 事業所 回答状況 128 事業所）

現 状

2019年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が7.1%（前期13.4%）、「やや悪い・悪い」が56.3%（前期42.6%）となった。D I値は▲49.2（前期▲29.2）となり、前期調査時に比べ20.0ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲48.4（前期▲31.3）・建設業が▲21.7（前期▲13.0）・卸売業が▲62.5（前期▲70.0）・小売業が▲78.3（前期▲41.6）・飲食業が▲60.0（前期▲41.6）・サービス業が▲47.3（前期▲15.8）・交通運輸業が▲25.0（前期▲40.0）・その他の業種が▲33.3（前期42.9）となった。

業種別では前期D I値と比較して卸売業・交通運輸業で改善が見られ、製造業・建設業・小売業・飲食業・サービス業、その他の業種においては悪化し、特に小売業においてはマイナス幅が大きくなった。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が11.0%、「やや悪い・悪い」との回答は46.9%、D I値は▲35.9となった。

現状のD I値（▲49.2）と比較すると、13.3ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲33.3・建設業が▲13.0・卸売業が▲62.5・小売業が▲56.5・飲食業が▲50.0・サービス業が▲36.9・交通運輸業が0.0・その他の業種が▲33.3となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、交通運輸業が25.0ポイント改善を見通すほか、小売業が21.8ポイント、製造業が15.1ポイント、サービス業が10.4ポイント、飲食業が10.0ポイント、建設業が8.7ポイントの改善を見通し、卸売業とその他の業種が横ばいを見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題については「売上・受注の停滞減少」が最も多く、48.4%（前期54.5%）、「設備店舗の狭小老朽化」が21.9%（前期20.9%）、「原材料高及び不足」が20.3%（前期19.4%）、「人手不足」が18.8%（前期14.2%）と上位を占めたが、業種別では、建設業が、前期1位「売上・受注の停滞減少」56.5%から今期1位「人手不足」39.1%に変動していることから、「人手不足」の課題が表面化している状況が窺える。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は19社14.8%（前期17社12.7%）であった。前期と比較して2.1ポイント増加した。

業種別では、製造業6.1%（前期15.6%）、建設業26.1%（前期4.3%）、卸売業25.0%（前期20.0%）、小売業4.3%（前期4.2%）、飲食業20.0%（前期0.0%）、サービス業10.5%（前期21.1%）、交通運輸業

0.0%（前期 20.0%）、その他の業種 66.7%（前期 42.9%）となり、前期と比較し、その他の業種が 23.8 ポイントと最も増加幅が大きく、交通運輸業は 20.0 ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。業種別では、建設業が 6 社と最も多かった。

◎熊野商工会議所地区（調査対象 200 事業所 回答状況 39 事業所）

現 状

2019 年 7～12 月の業況は、「良い・やや良い」が 23.1%（前期 18.2%）、「やや悪い・悪い」が 59.0%（前期 48.4%）となった。D I 値は▲35.9（前期▲30.2）となり、前期調査時に比べ 5.7 ポイント悪化する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲12.5（前期▲23.1）・建設業が 33.3（前期 57.1）・卸売業が▲100.0（前期 0.0）・小売業が▲30.0（前期▲47.6）・飲食業が▲100.0（前期▲16.7）サービス業が▲25.0（前期▲50.0）・その他の業種が▲100.0（前期▲80.0）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して製造業・小売業・サービス業で改善が見られた。一方で、建設業・卸売業・飲食業・その他の業種が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 5.1%、「やや悪い・悪い」との回答は 46.1%、D I 値は▲41.0 となった。

現状の D I 値（▲35.9）と比較すると、5.1 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲12.5・建設業が▲0.0・卸売業が▲100.0・小売業が▲70.0・飲食業が▲75.0・サービス業が▲37.5・その他の業種が▲50.0 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると飲食業が 25.0、その他の業種が 50.0 ポイント改善を見通すほか、製造業と卸売業が現在の水準で推移する見通しである。一方で建設業が 33.3 ポイント、小売業が 40.0 ポイント、サービス業が 12.5 ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が 59.0%（前期 53.0%）と最も多く、次いで「人手不足」が 23.1%（前期 13.6%）、「原材料高及び不足」が 17.9%（前期 18.2%）と上位を占めた。

また、業種別では、小売業・飲食業・サービス業においては「売上・受注の停滞減少」、製造業においては「原材料高及び不足」、建設業においては「人手不足」が最も多い。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 9 社 23.1%（前期 15.2%）であった。前期と比較して 7.9 ポイント増加した。

景況調査票

2020年1月

※各設問に対して該当するものに○をして下さい。

I. 企業の概要

1 業種 (主たるもの1つ)

〈製造業〉	1. 食料品	2. 繊維品	3. 機械製品	4. 金属製品	5. 木材木製品
〈建設業〉	6. 化学製品	7. 土石業	8. 印刷・出版	9. その他	
〈卸売業〉	10. 土木工事	11. 建築工事	12. その他		
〈小売業〉	13. 食料品	14. 繊維・身の回り品	15. その他		
〈飲食業〉	16. 繊維・身の回り品	17. 食料品	18. 家具・日用品	19. 電気製品	20. その他
〈サービス業〉	21. 飲食店	22. 美容・理容	23. ホテル・旅館	24. 自動車整備	25. 不動産
〈交通運輸業〉	27. 交通運輸	〈その他〉	28. その他		

2 常時使用従業員数(会社の役員・家族従業員・パートを除く)

1. 0～5人	2. 6～20人	3. 21～50人	4. 51～100人	5. 101人以上
---------	----------	-----------	------------	-----------

II. 企業の経営状況について

3 現状について…2019年7～12月の業況は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 良	い	2. やや良	い	3. 変わらない	4. やや悪	い	5. 悪	い
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

理由:

4 今後の見通しについて…2020年1～6月の業況は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 良	い	2. やや良	い	3. 変わらない	4. やや悪	い	5. 悪	い	6. わからない
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	----------

理由:

5 売上状況について…2019年7～12月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増加	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減少	少
-------	---------	----------	---------	-------	---

6 売上の見通しについて…2020年1～6月の売上は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 増加	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減少	少	6. わからない
-------	---------	----------	---------	-------	---	----------

7 利益状況について…2019年7～12月の利益は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増加	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減少	少
-------	---------	----------	---------	-------	---

8 販売条件(単価・決済方法)について…2019年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

9 仕入条件(単価・決済方法)について…2019年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化	6. 仕入なし
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	---------

10 設備投資について

2019年7～12月の実績		2020年1～6月の予定	
1. 行った	2. 行わない	1. 予定あり	2. 予定なし

11 資金繰りの現状について…2019年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

12 資金繰りの見通しについて…2020年1～6月は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化	6. わからない
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	----------

13 借入の現状について…2019年7～12月はどうでしたか。(借入された方のみ)

1. 容易	2. 普通	3. 困難
-------	-------	-------

14 借入予定はどうか…(2020年1～6月)

1. 予定している	2. 予定していない
-----------	------------

14-① 借入先は、どこを希望されますか。(主たるもの一つ)

1. 民間金融機関	2. 公的金融機関	3. その他
-----------	-----------	--------

14-② 資金用途は何を予定されていますか。(主たるもの一つ)

1. 運転資金	2. 設備資金
---------	---------

15 現在経営上で、困っている問題点は何ですか。あれば3つ以内で選んでください。

1. 売上・受注の停滞減少	6. 設備・店舗の狭小老朽化	11. 競争激化
2. 製品・商品単価の下落	7. 売掛・債権回収の悪化	12. 人材育成
3. 人手不足	8. 人件費の増加	13. 立地条件の悪化
4. 過剰人員	9. 人件費以外の経費の増加	14. 法的規制等(緩和を含む)
5. 借入難	10. 原材料高及び不足	15. 税務・経理問題

16 その他困っている問題・御意見等があれば御記入ください。

()

御協力ありがとうございました。